



じゃがいもずきん「ききぼう」くん

防災ワンポイント 第53回 冬の安全対策

今年も雪の季節がやってきました。ここ2年ほどの降雪量は平年に比べやや少なめでしたが、今年もそうなるとは限りません。

雪国に住む期間が長くなるにつれ、つい『雪の扱いには慣れている』と感じ、雪の危険を過小評価しがちになります。改めて以下のポイントを確認し、冬を安全に過ごしましょう。



屋根の雪下ろし

各地で、雪下ろしの際の事故が増えています。

次のことに気をつけて、安全な作業を心掛けてください。

- ・作業は、家族や隣近所に声をかけて、必ず2人以上で行いましょう。
- ・携帯電話を必ず持っていきましょう。
- ・低い屋根でも油断は禁物です。作業は、万が一に備えて必ずヘルメットと命綱を装着しましょう。
- ・除雪道具は、こまめに手入れや点検を行いましょう。
- ・はしごはしっかり固定しましょう。
- ・晴れの日は雪が緩むことがあります。滑りやすいので注意してください。
- ・作業開始直後と疲れた頃は、特に慎重な作業を行いましょう。



再確認！ 冬の安全対策



雪によるLPガス事故

LPガス設備が、屋根からの落雪などで損傷してしまうと、ガス漏れや火災、爆発といった事故が発生する恐れがあります。事故を起こさないために、次のことに注意してください。

- ・ガス設備の周辺に雪がたまるように除雪を行ってください。
- ・屋根からの落雪があったときは、ガス設備の確認をしましょう。
- ・屋根の雪下ろしの時は、雪がガス設備に当たらないように注意しましょう。また、隣の家のガス設備にも注意しましょう。



屋根からの落水雪

寒暖の差が大きくなると、屋根の雪やつららが落ちて大変危険です。次のことに注意してください。

- ・落水雪事故は、気温マイナス3℃からプラス3℃程度の時に発生しやすいので、屋根の雪やつららを常に確認して、早めに落としましょう。
- ・危険な軒下は歩かないようにしましょう。
- ・子どもたちを落水雪の危険がある場所で遊ばせないようにしましょう。また、遊んでいる子どもたちを見かけたら注意しましょう。

雪国で生活するためには、冬の安全対策は欠かせません。
冬を安全に生活するために、冬の生活に潜む危険や安全対策を知っておく必要があります。

広報わからないより引用(稚内市許諾済)



吹雪の視界情報 サイト&メール配信サービスについて

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所が運営する【吹雪の視界情報】では、吹雪による視界不良について、道内の市町村ごとに色分けして表示するサービスを行っています。

○サイト

- ・視界不良の程度を5段階で評価して塗り分けるため、一目で理解することができます。
- ・現況に加えて、24時間先までの予測情報も提供しています。

○メール配信サービス

- ・配信情報の対象となるエリア、配信される時間、配信される視程の条件などを細かく設定できます。詳しくは下のリンクまたはQRコードからご確認ください。

【冬の道ナビ】 <http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm>



詳しくは、総務課 防災係まで。